



令和 8 年 5 月 27 日

ななかいこども園

にじいろだより

NO. 3

暑い日や雨などで天気が悪く外で遊べない日が出てきています。そんな日はホールを利用し各学年がその学年にあった体を動かす活動を取り入れ、体を動かす遊びを楽しんだり、気持ちを発散させたりしています。ホールで色々な遊具を先日の3・4・5歳児がおこなったヒップホップダンス教室も、音楽に合わせて気持ちよく体を動かすことがとても良い体験だと感じました。日頃から動と静に意識し取り入れていけるようにしていきたいです。一緒に体を動かさせて頂いた私たちにとってもとても良かったです。お家の方も、気持ちよく体をうごかすと、気持ちも一新良いものですよ。

さて、今回お話したいのは「絵本を生活に取り入れよう」という話しです。

新しい園舎に移り、以前よりも本の貸し出しができていない現実があります。どうしてかな?と振り返ったときに位置の問題もあるのかな?と思い、玄関に図書コーナーを増設することになりました。新刊やおすすめ絵本もありますので、是非見て借りていってください。また、帰りの時間に借りるのもお家の方達に負担に感じるのかな?と言う意見も出たので、子ども達が借りたい絵本を事前に園で記入をして貸し出す取り組みもおこないます。一週間以内に返して頂ければかまいませんので、是非読み聞かせしてあげてくださいね。

読み聞かせについてですが、お忙しい生活の中で読み聞かせなんて大変だし、聞いてくれないし、なんていう思いを抱えているお家の方も多いと思います。でも、絵本は子育てをしてくれます。もちろん、読み聞かせを大人がやってあげることがどんなにいい影響を与えるかこの後、紹介させていただきますが、絵本を身近に置いておくだけでも、子ども達は絵本で遊んでくれます。1歳の園児は「まいごのまいごのこねこちゃん」や「ねこいる?」というお話が大好きで、本をめくって(何枚もめくれちゃったりもしますが)指を指したりしています。ときには破れてしまうこともあります。テープで貼り付ければいいので、それだけ興味を持ってくれたと言うことで嬉しいので、園から借りたものは破れたり折れたりを心配せずに使用し、終わったら破れてしまった件をお伝えして頂ければ結構です。

続いて、最近本屋さんで「子どもを読書好きにするために親ができること」と言う本を見つけ、読んでみました。そこでは本に親しむことによって、

- ・語彙が豊かになる
- ・知識が得られる
- ・心が穏やかになる
- ・表現力が高まる
- ・読解力がつく
- ・人間性が高められる
- ・物語を楽しめる
- ・集中力がつく
- ・感受性が高まる

と、9つの良さが打ち出されていました。(外にもたくさんああると書かれていました。)

また、子どもが本に触れる機会をまずは親が作るようにし、読み聞かせるコツは、子どもが小さいうちから始めることにつきますそうです。早ければ早い方がいいそうです。初めは毎日欠かさずに読み聞かせは大変なので週末だけでもできるところからでいいそうです。続けるコツは、就寝前には読み聞かせをすると決め、就寝 20 分から 30 分前に合わせて生活リズムを作り、状況に合わせ読む時間を削るようにしていくといいそうです。大人の「勝手や」「下心」が見え、「せっかく読んであげているのに!」と恩着せがましいニュアンスや、しつけに利用をしてしまうと、読み聞かせを嫌いになってしまう子もいるそうです。まあ、楽しめればいいってことですね。

時には子どもに読み聞かせをしてもらったりして、子どもとの絵本の時間を楽しんでください。

参考 「子どもを読書好きにするために親ができること」 作 白坂 洋一

※この本に興味のある方は、お声かけください!